

デジタルで拓く、 しあわせな社会

Happiness driven society



安全・安心で幸せな社会のために 未来社会への橋渡しとして

当財団は、1970年の創立以来、関西を中心とする地域の情報化の推進及び産業の活性化支援に取り組んでまいりました。

この間、世界及び我が国における情報通信分野の技術や環境の変化は目覚ましく、それらを背景に、「情報化」の持つ意味合いも大きく変化してまいりました。

当財団では、「情報化」が、地域や我が国のみならず世界の幸福に寄与出来るとの強い思いに基づき「情報技術の調査・研究を通じて、産業の活性化を図ると共に、安全・安心で幸せな社会の実現に貢献する」という理念を掲げて事業に取り組んでいます。

今後とも私たちは社会や技術の変化に対応し、賛助会員様をはじめ関係諸団体との連携を図りながら、常に時代の先端を行くテーマに取組み、未来社会への橋渡しの役目を果たして参る所存でございますので、引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



会長 尾崎 裕



**調査研究・普及啓発事業
(公益目的支出計画事業)**

デジタル潮流を読み解き、
未来への知見を共有



ビジネス・政策支援事業

テクノロジーで、地域社会と
企業の課題解決を推進



情報ネットワーク関連事業

自治体・企業のデジタル基盤を、
安心・安全に支える



**社会システム支援事業
(健康保険組合関連事業)**

健康保険組合の業務効率化と
高度化を支援



情報化社会基盤整備事業

個人情報保護体制の構築を支援し、
信頼される企業活動を後押し

「情報技術の調査・研究を通じて、産業の活性化を図ると共に安全・安心で幸せな社会の実現に貢献する」

この理念を実現するため、KIISは社会全体の利益に資する「公益事業」と、その公益事業を安定的に継続するための基盤となる「収益事業」という二つの柱で事業を展開しています。

公益事業としては、情報通信分野に関する調査研究や、最新技術を広く社会に伝える普及・啓発活動に力を入れています。

これは情報技術が社会や産業の発展にどう役立つかを探求し、その成果を広く共有することで、理念の達成を目指すものです。そして、こうした公益性の高い活動を持続可能にするために、健康保険組合様向けのシステム提供・運用サポートや、企業の適切な個人情報管理を支援するプライバシーマーク審査業務などを収益事業として実施しています。



Research and public awareness projects

調査研究・普及啓発事業（公益目的支出計画事業）

急速に変化するデジタル社会において、ビジネスや政策の意思決定には的確な情報が不可欠です。本事業では、関西地域におけるIT・デジタル技術の最新動向を多角的に調査・分析し、その成果をビジネスリーダーや政策担当者の皆様と広く共有しています。

特に、企業の競争力強化や新たな事業機会創出に直結するDX（デジタルトランスフォーメーション）、AI、IoTビッグデータ活用といった先端テーマに焦点を当て、実践的な情報を提供する調査を実施しています。

また、これらの知見を広く普及するため、大規模シンポジウムや専門セミナー、研究会などを開催し、多様な企業・団体が情報やアイデアを交換し、共に学びを深める場を提供しています。

これにより、変化に対応できる組織づくりや、情報技術を活用した戦略策定を支援し、関西全体の情報リテラシー向上とイノベーション創出に貢献しています。





ビジネス・政策支援事業

企業や自治体が直面する複雑な課題に対し、デジタル技術を駆使した実践的なソリューション開発と導入を支援します。
サイバー攻撃リスクの増大や、新たなテクノロジーのビジネス適用など、専門性の高い分野において、KIISが持つ知見とネットワークを活かし、課題解決を後押しします。

具体的には、サイバーセキュリティ対策の強化、DX戦略の策定・実行支援AI等の先進技術活用に関する専門家によるアドバイスや、実践的な研修プログラムを提供しています。

また、防災・減災分野においては、地区防災計画策定支援をはじめ災害情報共有のための仕組みづくりや、スマート技術を活用した監視システムの実証など、安全・安心な地域づくりに向けた具体的な取り組みを官民連携のもと進めています。

これらの活動を通じて、地域経済の持続的な発展、競争力強化、そして政策効果の最大化に寄与し、地域社会全体のレジリエンス向上を目指しています。

Business policy support project



KIISでは関西地域の情報化推進と産業活性化に向け、以下のような主要な事業を定期的の実施しており
会員企業をはじめとする多くのビジネスパーソンにご活用頂いております

●ITシンポジウムインフォテック®

最新IT/デジタル技術の動向と、ビジネスへの影響を語るシンポジウム。
専門家による情報発信を通じ、ビジネス戦略立案に役立つ知見を提供します。

●e-Kansaiレポート

関西のデジタル化(DX)やデジタルビジネス創出動向を多角的に調査・分析した
独自レポートです。
地域ビジネスに関する最新情報源としてご活用いただけます。

●サイバーセキュリティ研究会

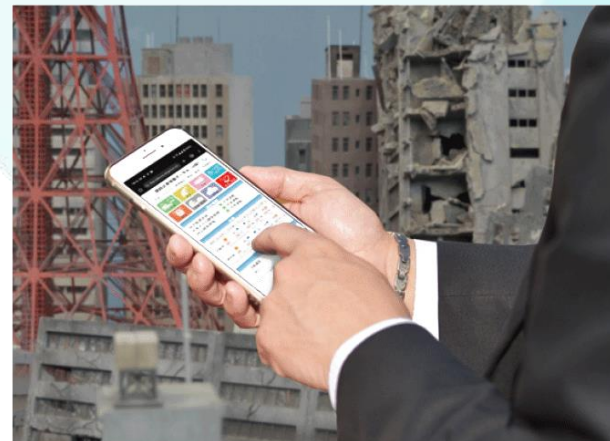
企業のサイバーセキュリティ対策を実践的に支援する研究会です。
人材育成や情報共有、連携強化を通じ、企業の防御力向上に貢献します。

●関西防災減災推進プラットフォーム

デジタル技術を活用し、企業のBCP（事業継続計画）策定や地域防災力向上を
推進。災害に強く、安心な地域づくりを情報面から支えます。

●スマートインフラセンサ利用研究会

センサー技術とデジタル技術(DX)で、社会インフラの効率的な維持管理と防
災への応用を推進。安心・安全な社会基盤の維持に貢献します。



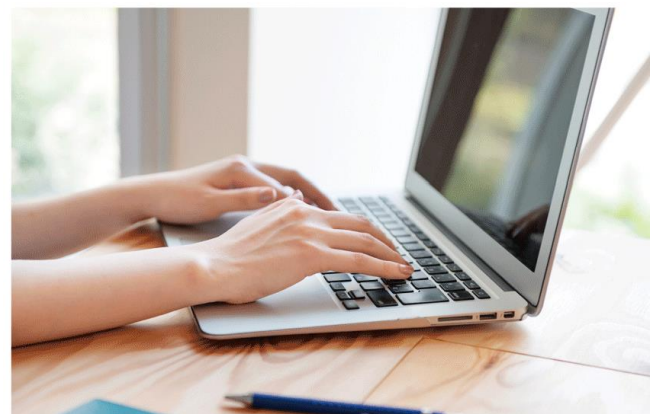


Information network-related business

情報ネットワーク関連事業

地域社会の利便性向上と、公共サービスの質の向上に貢献するため、自治体のデジタル化（DX）を支援しています。
施設予約システムの提供はその一例であり、住民の方々がインターネット経由でスムーズに手続きできるよう、使いやすさを追求したシステムを提供し、自治体業務の効率化にも寄与しています。

また、ビジネスにおける情報セキュリティの重要性が高まる中、機密性の高い情報を安全に取り扱うための「セキュアサポートサービス」を提供しています。
これは自治体だけでなく、民間企業の皆様にもご利用いただき重要なデータの安全な送受信や保管を実現し、ビジネスにおける信頼性確保を支援しています。



ICTソリューション

電子申請自動連携

中間サーバー自動連携

ポータルサイト連携

サーバーセンター(クラウド)

遠隔リモートメンテナンス

テレワーク対応

各ソリューションと連動し健康保険組合様のニーズに沿った自由度の高い対応を実現

基幹業務ソリューション

適用・給付・総務系

保健事業系

電子申請 電子監査

電子決済ワークフロー

長年の実績と万全の
サポート体制

Webソリューション

ホームページ制作

医療費通知 ジェネリック
差額通知

健診・保健指導 閲覧

ウォーキング 健康ポイント

Webを活用した
多彩なコンテンツ

分析ソリューション

医療費・疾病分析

健診・保健指導分析

財政経営分析

データヘルス計画策定支援

医療費適正化
健康経営を支援

社会システム支援事業（健康保険組合関連事業）

社会インフラの一翼を担う健康保険組合様に対し、その運営をデジタル技術で包括的にサポートしています。

組合加入者へのサービス品質向上と、組合運営の効率化・高度化を目指し、基幹業務システムの導入・運用支援から、ウェブサイト構築・運用関連機関との自動データ連携まで、幅広いサービスをワンストップで提供しています。

増大する情報セキュリティリスクにも対応し、個人情報を含むセンシティブなデータを安全に管理・運用できる環境整備を支援することで、健康保険組合様が安心して業務を遂行できるよう貢献しています。

Social System Support Project





Information Society Infrastructure Development Project

情報化社会基盤整備事業

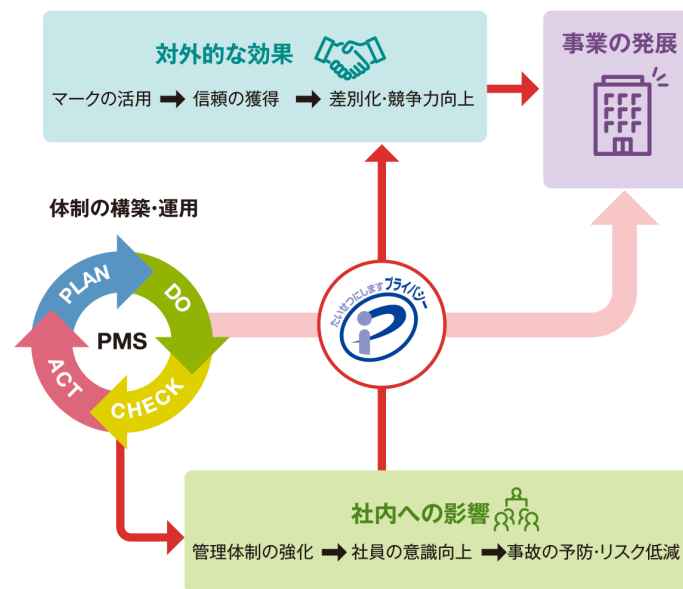
情報化が進展する中で、個人情報の適切な管理は企業の信頼性を示す上で不可欠です。

KIISは、プライバシーマーク制度の指定審査機関として、近畿2府5県を対象に、企業のプライバシーマーク取得を支援しています。

申請受付から審査、付与決定に至るプロセスを担い、企業が個人情報保護のための体制を適切に構築・運用できているかを専門的な視点から評価します。

またKIISでは個人情報保護の取組が円滑かつ着実に進むよう、プライバシーマーク審査員を養成する研修も合わせて実施しています。

これらの取り組みを通じて、地域企業のコンプライアンス強化と情報管理レベルの向上を促進し、利用者が安心して企業のサービスを利用できる、安全な社会基盤の整備に貢献しています。



KIISと共に、関西のデジタルと産業の未来を創造する

一般財団法人関西情報センター(KIIS)は、関西地域、そして西日本全体における情報化の推進と産業の活性化を目指し、産官学の連携のもと様々な事業を展開しています。

本財団の活動にご賛同いただき、共に地域の発展を支え、デジタル技術を活用した新たな価値創造にご参画をいただける企業・団体様を「賛助会員」として募集しています。

賛助会員にご入会いただくことで以下のような様々な特典をご活用いただけます

●withビジネス創出セミナー … ソリューション紹介とビジネス連携

関西DX推進プラットフォームの取り組みの一環として、賛助会員企業様が提供するDXやサイバーセキュリティ関連の優れたソリューションやサービスを広く紹介するセミナーを実施しました。これは、会員企業様の製品技術のPRと、新たなビジネス連携の機会を生み出すことを目的としています。

●セキュリティ人材育成プログラム … 実践的なスキル習得

サイバーセキュリティ研究会の活動として、企業のセキュリティ担当者やマネジメント層が必要とする実践的な知識・スキルを習得できる研修プログラムを提供しました。賛助会員様は、通常よりも少ない負担で、重要なセキュリティ人材の育成を進めることができます。

●セキュリティ最新情報解説サロン … クローズドな意見交換とコミュニティ形成

企業のセキュリティ担当者同士が、外部有識者を交えて最新の脅威や対策について非公開で深く議論し、情報共有を行う場を提供します。これにより、参加者は率直な意見交換を通じて知見を深め、企業間の連携やセキュリティ対策レベルの向上に繋がるネットワークを構築しています。

1970年

財団法人関西情報センター設立(1970.05.29) 大阪・中之島に事務所を設置
日本万国博覧会にて利用された大型計算機「TOSBAC5400」を譲受(以後数回のリプレース・移設を実施)
TOSBAC5400を活用し、「情報処理」「シンクタンク」「教育、啓蒙、広報」を活動の柱として事業を開始

1972年

事業成果報告会を開始

1986年

「コンピュータワールド(言:ITシンポジウム インフォテック)」を開催

1987年

事務所を中之島から大阪駅前第一ビル(大阪市北区梅田)に移転

2002年

関係団体の再編統合により、財団法人関西産業活性化センターの事業を一部当財団が継承し
「財団法人関西情報・産業活性化センター」に名称変更

2005年

「関西情報化実態調査(現:e-Kansai レポート)」を開始

2006年

プライバシーマーク審査業務を開始

2008年

事業成果報告会を「KIISフォーラム」に名称変更

2010年

「関西CIOカンファレンス」「ビジネスイノベーションセミナー」
「プライバシーマーク審査員研修業務」を開始

2012年

公益法人制度改革関連三法により一般財団法人関西情報センターへ移行

2019年

事務所を大阪駅前第一ビルから松下IMPビル(大阪市中央区城見)に移転

2020年

創立50周年

2024年

「KIISフォーラム」をWEB公開へリニューアル



▲HP



▲facebook



主要な指標等

(2025年3月末時点)

<貸借対照表>

資産合計	: 1,082百万円
負債合計	: 406百万円
正味財産合計	: 676百万円

<正味財産増減計算書>

経常収益計	: 1,430百万円
経常費用計	: 1,434百万円
正味財産増減額	: △2百万円

職員数 : 41名

賛助会員数 : 171社

Kiis 一般 関西情報センター
財団法人

〒540-6305 大阪市中央区城見1-3-7 松下IMPビル5階
TEL 06-6809-1093 FAX 06-6809-2093

HP <https://www.kiis.or.jp/>
MAIL soumukikaku@kiis.or.jp

最寄駅

大阪メトロ 長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅下車 徒歩1分
JR大阪環状線 JR東西線「京橋」駅下車 徒歩7分
京阪本線「京橋」駅下車 徒歩7分